

平成23年度第1回小牧市歴史館運営委員会議事録

1 開催日時 平成23年10月24日(月) 13時25分～14時50分

2 開催場所 小牧市役所南庁舎 5階 大会議室

3 出席委員

横地 操 浅井 啓介 江尻 鎌市  
池田 洋子 安藤 和憲

4 説明のため会議に出席した者

文化振興課長 後藤 有嘉 文化振興課長補佐 山下 美代子  
文化財係長 長谷川 潤治 文化財係主事 杉田 康明  
施設活用協会 宮田 孝洋 清田 憲司

6 議題

- (1) 小牧市歴史館の運営状況について
- (2) 小牧市歴史観企画展示について

7 会議資料

議事次第

資料1 (小牧市歴史館の運営状況について)

資料2 (小牧市歴史館企画展示について)

小牧市歴史館運営委員会委員名簿

企画展チラシ、スタンプラリー用紙

文化遺産カード

会議の傍聴人 なし

(午前13時25分開会)

事務局

本日はご多忙のところ小牧市歴史館運営委員会にご出席いただき、ありがとうございます。今後の小牧市歴史館の運営について、皆さんの活発なご意見を頂戴したいと思います。

それでは、ここで文化振興課長の後藤から挨拶を申し上げます。

事務局挨拶

今年は3月に震災があり、市でも選挙の関係で予算の本格稼働、人事異動は7月になりました。後ほどの報告でもありますが、震災の関係でさくらまつりやライトアップが中止となるという影響もありました。そういうなかで、小牧市のシンボルである小牧山、そしてその上にある歴史館をどのように皆さんに認識していただくのか、それが利用にも繋がっていくと思います。また、いろいろとご意見をいただきますようお願い申し上げます。

事務局

続きまして、B委員長からご挨拶をお願いします。

委員長挨拶

先日、文化財保護審議会の視察で敦賀、福井に行ってきました。様々な今の流行のグッズが並べられており、説明も面白い内容で、学芸員も熱心でした。この会議も、忌憚のない意見を出していただき、今後の運営がうまくいくような実りある会議になりますようご協力をお願いします。

事務局

異動職員の紹介

資料の確認

会議公開の確認

委員長

それでは議題に入ります

議題1「小牧市歴史館の運営状況について」事務局の説明を求めます。

事務局

(「小牧市歴史館の運営状況について」の説明)

## 委員長

事務局からの説明は終わりました。入館者数などのお話がありましたが、今後たくさんの方が参加いただけるような方策など、発言はありませんか。

## 事務局

歴史館は博物館・美術館と違う形でつくられており、企画展示などをしようとしても十分な設備がないという問題があります。そのようななかで、利用者を伸ばしていくには、ひとつには小牧山の歴史的価値を高めていくというのがあります。もうひとつは、今の歴史館の環境のなかで、持っているもののなかでできることを考えるということがあります。そういうなかで、学校の中で歴史の中で小牧にかかわるものを何年生でどういったものを教えているのか、を教えていただければと思います。

## A委員

まず、中学2年生くらいで戦国時代の歴史を学ぶ中で「小牧・長久手の戦い」が出てきます。そこで、この戦いの歴史の舞台はここであるということを目の当たりにすることにより興味を持ってもらえると思います。ただ、そうすると1時間の授業のなかで行って帰ってくるができるのは小牧中などに限られます。北里中でも2、3時間はかかるため、それだけ連続した時間を社会科に費やすことは難しいところがあります。また小牧の歴史の詳しい内容を記載した副読本もできますのでそれで中身を勉強してから出かけるという方法もあります。

小学校だと遠足などで小牧山を利用し、歴史館も見てくるというのがあります。ただ、歴史を勉強するのは6年生ですが、6年生の社会見学だともっと遠出してしまいます。あまりに近くにありすぎるので逆にパスされてしまいます。

## 事務局

「小牧・長久手の合戦」も教科書には出てくるのですが、歴史館のなかに説明展示があるくらいで、生かしきれていない部分があり、もっと方法を考えなければいけないと思います。

## B委員

メナード美術館では、市のバスを使用して市内の中学校2年生が順番で見学をしています。小牧山はそういう事業がありません。予算の関係もあると思いますが、歴史などに興味を持ち始めた学年などを順番で見学してもらう方法もあると思います。

また、年配者は歴史館まで山を登るのが大変ですので、マイクロバスで上げてもらえるなどの方法があれば来館者も増えるのではないのでしょうか。

### C委員

小牧山を歴史に限定しないで、生活科で小牧山の四季を見るなどの活用方法もあると思います。まずは歴史は置いておいて、年少のうちに身近なものとして親しみをもってもらうことが大切ではないでしょうか。また、市営バスを利用し、バスに乗る訓練をかねてきてもらう方法もあると思います。

### 事務局

どうしても、足の確保と安全性が問題になります。また、A委員の言われたように、授業時間の確保も問題となります。

### B委員

私たちくらいの年になると、登ることが億劫になります。登りたいけど登れない人もいます。老人会では、今は温水プールや温泉地などに行っていますが、もっと自然がいいという方もいますので、そういった方を案内する方法もあると思います。

### D委員

高齢者の方は時間もありませんし気軽に行けるようになるのはいいと思います。また、子どもが小学三年生ですが、公共のバスを使って出かけることがあり、バスのマナーを教えることも含めて学習できるのはいいと思います。ただ、バスが小さいので一度に乗れない問題があります。やはり、高齢者と学校の児童生徒が課題だと思います。

また、今、歴女がブームになっており、ドラマの一部分の舞台だけでもタイアップしたような展示があれば足を伸ばしてもらえらる可能性が増えると思います。

### B委員

地元のテレビ番組に取り上げられたお店が繁盛するという例をよく聞きます。先日、ラジオで歴史館が取り上げられたときも、聞いたという声を聞きました。そういうメディアを使ったPRの方法も考えていかなければいけないと思います。

### A委員

夜間営業について、延長時間の実績はどのようになっていますか。

### 事務局

今年度は8月に8日間、9月で8日間の夜間営業を行いました。天気の良い日は夜間で50名前後、悪い日は1桁です。一番多かった日は、お月見まつりの

日で、例年だと 1,500 人ほどですが、今年はおもてなし武将隊が来たこともあり 2,411 人の来場がありました。

E 委員

先日、テレビ番組の訪問があったのですが、そのような情報提供はどのようにしているのでしょうか。観光部局から行っているのでしょうか。

事務局

お店については観光協会などから紹介があると思います。小牧山については、こちらから案内するというよりも、テレビ局などのほうから取材したいとの問い合わせがあり、それに応える形です。

E 委員

マスメディアもそうですが、取り上げたい、おいしいものがないとなかなか来てくれないのが現状です。「そこで何をするのか」ということがわからないといけません。お月見まつりでは、連動した講座を実施し、本番を迎える形をしました。このような連動性を持って動いていくことが大切だと思います。市町村の連携もしづらいとは思いますが、犬山市は城下町として観光で活性化していますし、連動した企画をするのもいいと思います。第一には、歴史館のメインがわかるといいです。

委員長

議論が展示の内容にも触れてきましたので、議題 2 「小牧市歴史館企画展示について」事務局から説明を求めます。

事務局

(「小牧市歴史館企画展示について」の説明)

B 委員

「小牧山と江崎氏」の展示のときに、C 委員から江崎氏がどういう人か説明がないとわからないという話がありましたが、同じように、突然、実施するだけの展示では意味がない、例えば 5 年間の計画など、連動性と意図を持った展示をするのが重要だと思います。

C 委員

私たちは江崎氏と聞けば分かりますが、一般の方はわかりません。現在の展示もキャッチコピーで家康方の砦の展示と分かりづらい部分があります。内部では分かることでも外部の人では分からないことがありますし、事前に外部へ

相談することで違う目が入る部分があると思います。また、若い人に向けては、いきなり字を読ませるのではなく、まずは写真などで目を引くことが大切です。

#### B委員

福井へ視察に行ったとき、小学生は3分以上の説明では飽きるので3分でおさめる、展示説明も5行以内で要点をまとめて重要なところのみを赤字にするなどの工夫をしていました。今回の展示でも、守っている武将や兵の人数などが書かれていると子ども達もイメージがしやすいと思います。

#### 事務局

今回の企画展示は犬山のNPO法人のニワ里ねっとが3つの市町をまとめて発案しており、小牧はそういう部分で弱いです。今後も連携性を維持しつつ、こちらから自発的に発信をしていかなければいけないと考えています。

#### D委員

犬山は芸人とのタイアップなどPRが上手なイメージがあり、連携できるのは非常にいいことです。

#### E委員

文化遺産カードは今回の景品の4種類しかないのでしょうか。

#### 事務局

文化遺産カードについてもニワ里ねっとで作成しているもので、これまで20種類弱が作成されています。カードフォルダーも作成しているそうです。

#### C委員

カードの小牧山の写真について、山の高さが分かる写真がよかったと思います。他市から小牧に帰ってくると、山が見えて「小牧に戻ってきた」という感じがします。

#### B委員

小牧山は、県営空港の滑走路やパークアリーナからきれいにみえます。高さ制限はありますが、徐々に小牧山が見づらくなるような高い建物も建ってきていますし、写真を今のうちに撮って保存しておいてもいいと思います。

話は変わりますが、長浜市では大河ドラマでのお江ブームに乗っかって様々なグッズを作っています。小牧市でも、そういった事例を今のうちに参考として資料をもらって、今後にかせるようにしてもいいと思います。来年の大河ドラマは平清盛が主役ですが、同年生まれの西行に関連した文化財が小牧にあ

りますし、関係してPRをしていくのもいいと思います。福井への視察で本の形のパンフレットが広げると地図になるものをもらいましたが、このように工夫をしたパンフレットをつくるのも面白いと思います。

#### 事務局

小牧はもともと観光地でないこともあり、市民意識も違う部分があります。墨書石垣石材についても新聞の記事になりましたが、一過性ですませないように、同じものでも見せ方を変えることで常に意識させることも大切だと思います。

#### C委員

小学生は絵で見ないとイメージがわからない部分があります。実物を展示できなくても、名古屋の博物館などにあるものは繋がりを持つことで写真を撮らせてもらい、それを見せるだけでも興味を持ってもらえます。子どものうちに足を運んでもらえるようになれば、大きくなって自分の子どもを連れて来るようになります。子どもの足は大切です。クイズ形式など、遊びの要素を入れることもいいと思います。

展示については、最初に信長が小牧山に住んでいた時代の勢力図や、その後の移り変わりの勢力図があると歴史のイメージが付きやすいと思います。

#### E委員

信長のときはこうだった、小牧・長久手の戦いの時はこうだった、というのをA4くらいの移り変わりで見る事が出来ると思います。また、消防署は色々な車があつて小学生は興味をもちますが、同じように色々な種類の鎧の写真など、小学生のマニア心をくすぐるようなものがあればいいと思います。

小牧は観光地ではないという前提で動いていますが、逆にもともと観光地でないところを参考にヒントをつかんでいくといいと思います。

#### C委員

観光バスなどでいくと、自分がどこにいるか分からなくなります。付近の地図を出すことで、自分のいる位置のイメージをつかませることも大切です。

#### B委員

信長の家系図で、織田家のルーツや、小牧・長久手の合戦で出てくる織田信雄の説明をするのもいいと思います。

#### 事務局

歴史講座を大学などで実施していますが、例えば月に1回、歴史館に語り部

がいる形でも気楽に興味を持ってもらえて面白いと思います。

#### B委員

今日の議論では、展示にも継続性や意図をもたせることが大切との事でした。また、例えば10kgの重りで鎧の体験をするなど実体験のコーナーをもたせるなど、アイデアを出した展示をしていくといいとの意見も出ました。今後の発掘調査で小牧山の山頂がどうなっていくのかこれからPRしていくことも重要でしょう。

私はパンフレットを行きつけの店に置いていくのですが、そうすると小牧がこんなにもいいところだと知らなかったとの意見を聞きます。市役所だけでなく、お店なども利用してPRしていくことも大切です。また他市とのタイアップも考えていかななくてはなりません。

去年は扇子をつくりましたが、Tシャツなどいろいろなグッズを作るといいと思います。夏に浴衣や忍者姿で議会を行うところがありますが、そういう思い切った方法もいいと思います。

#### E委員

子どもと老人が大切という話でしたが、企業との連携も大切です。現在、夏にはイベントがありませんが、例えば甲冑展覧会など、企業に支援をしてもらうことで予算の範囲内で考えることができると思います。

#### D委員

歴女ブームで、講座でも歴史関係が非常に人気があります。今は若い人に人気があるので、女性目線で考えること、ブームに乗ることによっても広がっていきますし、他にないものがあることで、他市の方も足を運んでいただけるようになると思います。

#### A委員

夜間の利用状況を聞きましたが、早朝にも散歩される方も多いので、月に1回でも早朝から開いているといいと思います。

子どもたちにみせるにはもっとインパクトのある展示があるといいです。

#### C委員

信長の手形があって置いてみるができるなど、簡単なものでいいので体験ができるものがあるといいです。

#### B委員

裏込石に名前を書くというアイデアを聞いたことがありますが、そういう



ものでもいいと思います。また、山の上にありますし、小牧山ジュースなども面白いと思います。いくらでもアイデアはあると思います。

#### 委員長

それでは、議題の審議が終了しましたので、進行を事務局のほうにお返しします。

#### 事務局

ありがとうございました。

最後にその他であります、歴史館運営委員会委員について、現在の任期は10月31日で満了となり、11月1日から平成25年10月31日までの2年間、新たな委員の任期となります。継続して委員委嘱の願いをさせていただくかと思いますが、よろしく申し上げます。

以上をもちまして本日の議事日程は全て終了いたしました。慎重審議いただきましてありがとうございました。本日の会議の意見をもとに、よりよい小牧市歴史館の運営に努めてまいります。

これをもちまして、小牧市歴史館運営委員会を閉会いたします。

(午前14時50分閉会)